

第 20 回 明治大学小史展

明治時代の学園

会 期 2006 年 2 月 1 日（水）～8 月 31 日（木）
会 場 駿河台キャンパス・大学会館 1 階ロビー
主 幹 大学史資料センター事務局

今回は、明治時代の本学園を、当センター所蔵の貴重な資料から紹介します。

明治大学の前身である明治法律学校は、1881（明治 14）年 1 月 17 日に現在の有楽町にあった旧島原藩邸の一部を借り受け開校しました。その後、学生数の増加に伴い神田駿河台の南甲賀町に校舎を新築します。しかしその一方で、官学を優遇し私学を冷遇する政策や民法典論争の敗北は、学園に大きなダメージを与えました。こうした明治初期の苦難を乗り越えて、現在の駿河台キャンパスの地に、壮大な威容を誇った初代記念館が竣工しました。それは、創立から 30 年が経過した 1911（明治 44）年のことでした。

なお、お問い合わせは、大学史資料センター事務局（当館 6 階）までお願いいたします。

I 展示資料のご紹介

1 開校当初の明治大学（想像図）

明治大学は、1881（明治 14）年 1 月、現在の東京有楽町に明治法律学校として開校しました。校舎は、旧島原藩邸を借用していました。

2 学校運営のための借用証書（1882・明治 15 年）

開校当初、明治法律学校は厳しい経営を迫られました。この史料は、学校経営者が長直四郎（おさ なおしろう）に宛てた借金の申し込みです。長は、創立者の学生時代から面倒を見てくれていた人物で、この運営費の借用も実際は援助に近いものでした。

3 定期試験及第之証（1887・明治 20 年）

前期試験に「及第」したことの証明書です。

4 優等生の証（1902・明治 35 年）

創立者であり、初代の校長であった岸本辰雄の名前で出された優等生の証です。翌年の授業料が免除される特権もあったようです。

5 修業証書（1904・明治 37 年）

2 年次の「科程」の修了証書です。

6 在学証（1908・明治 41 年）

月別に発行された在学証です。学生は授業に出席したり、図書館を利用する際、常に携帯する必要がありました。

7 明治法律学校卒業証書（明治期）

明治大学の前身である明治法律学校の卒業証書です。この頃の卒業証書には、本学創立者の岸本辰雄や宮城浩蔵をはじめ、磯部四郎など明治期の学園を支えた教職員の名前が記されています。購入資料。

8 明法学士認許状（明治期）

1900（明治 33）年、卒業生に明法学士の称号を与えることとなりました。帝国大学（東京大学）の法学士や東京専門学校（早稲田大学）の得業生と並んで、その社会的評価は高かったと言われています。

9 岸本辰雄肖像（明治期）

岸本辰雄の校長在任時の肖像です。1851～1912 年。

10 宮城浩蔵肖像（明治期）

創立者のひとりであり、初代の教頭でもある宮城浩蔵の肖像です。明治 20 年代の初期帝国議会では代議士としても活躍しました。1852～1893 年。

11 矢代操肖像（明治期）

創立者のひとりである矢代操の肖像です。1852～1891 年。

12 財団法人への改組記事（1905・明治 38 年）

明治大学は、1908（明治 38）年 6 月に財団法人設置の申請をおこない、同年 7 月に認可を受けました。この時はじめて、大学の運営が法的根拠を持つことになりました。**資料は、そのことを伝える『明治学報』93 号に掲載された記事です。**

☆☆参考展示コーナー☆☆

☆校舎模型☆

研究棟・大学会館模型 アカデミーコモン模型 リバティタワー模型

Ⅱ 「明治時代の学園」略年表

- 1881（明治 14）年 明治法律学校開校（現在の有楽町）
1886（明治 19）年 神田駿河台の南甲賀町に移転する
1888（明治 21）年 校長・教頭が置かれ，初代校長に岸本辰雄が就任する
1891（明治 24）年 論文「民法出テ、忠孝亡フ」が発表される（民法典論争）
1900（明治 33）年 卒業生に「明法学士」の称号を与える
1903（明治 36）年 「明治大学」と改称する
1905（明治 38）年 学園の組織が財団法人となる
1911（明治 44）年 初代記念館竣工，現在の駿河台キャンパスの地に移転する
1912（明治 45）年 岸本辰雄が死去する

〔編集・発行〕 明治大学史資料センター事務局

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1

TEL 03-3296-4329 FAX 03-3296-4086

明治大学史資料センターURL <http://www.meiji.ac.jp/history/>

〔発行日〕 2006 年 2 月 1 日

〔印刷〕 二葉印刷有限会社